



# 国民春闘共闘

第10号

2021年2月10日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

#生活保障に税金まわせ #いのちまもる #2021春闘

全国  
いっせい

## 2・7ローカル・ビッグアクション

### 兵庫 4地域でいっせい宣伝！

兵庫県春闘共闘・兵庫労連は2月7日、元町駅前で行った宣伝行動を実施。兵庫教組と高教組は、大きな声で合唱もできない、教員の人手不足といった学校現場の状態を訴え。福祉保育労からは保育士がマスクを付けていることで子ども達は表情が見えなくなっており発達への影響に懸念があることを告発、医労連は医療の脆弱さを告発。医師・看護師の増員を求めました。県国公や全港湾、郵政ユニオン、通信労組、JMITU、年金者組合の仲間も切実な賃上げ要求や年金制度改善を訴えました。県内では、元町駅前のほか尼崎、姫路、宝塚でも宣伝行動を実施しました。

写真  
右・JR 姫路駅前で行った宣伝  
する西播労連の仲間  
下・神戸市・元町駅前



### 京都 「変えるリーフ」と食プロチラシ配布

京都総評は2月7日、近鉄富野荘駅でスーパー山田屋前宣伝と、変えるチラシを地元で行われる食プロチラシとセットにして、配布しました。



# 北海道 「本当にそう」「今すぐやってほしい」 —— 現場の声に広がる共感

全道の職場・地域でアクション！

(道労連ニュースより抜粋)

北見・苫小牧の両地区労連は、チラシ1000セットを戸配

道労連は2月7日、「2.7ローカル・ビッグアクション」を全道の職場・地域で取り組みました。

札幌パルコ前では、看護師、介護士、子育て世代、高校教員、学童保育指導員、保育士がスピーチ。

看護師の隼野たみよさんは、「私たちは、いつまでも抜本的で十分な政策が打ち出されない現状にもうしびれを切らしています。国民のいのちを守るのが政治の果たす役割。ひとり一人の声は小さいけれど、たくさんの声を集めて届けよう！力を貸して下さい！」と医療現場への支援策を求めました。

子育て世代の田中小夏さんは、小学校休業等対応助成金の拡充を訴え。「このままあきらめたら、休校で仕事を休むのは自己責任だった、子どもが自分のせいだと思ったままになってしまう。それではダメだと思い、私は今、ここで立ち上がっています！」と、「#子育て緊急事態アクション」への賛同を呼びかけました。

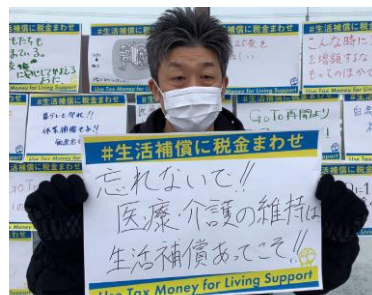
「いのち署名」は30分間で37筆。在宅介護とデイ・サービスで介護士として働く2人は、「一番の要求は賃金をあげてほしい。コロナ感染も本当に怖い」と、話していました。



北海道新聞に掲載されました！

SNS アピールに「いいね」1万超！

SNS上では、「医療に税金まわしてください」「忘れないで!! 医療・介護の維持は生活補償あってこそ!!」「学生たちに補償を!! 若者をみすてるな」「診療報酬上げなければ賃金が上がらない。看護師退職が増える。負の連鎖だ!!」「私達の税金です。給付金をもう一度」など、それぞれの要求が書かれたメッセージボードを手に「#生活補償に税金まわせ」のハッシュタグをつけてアピールし、累計で1万件以上のいいね!のリアクションがありました。



道医労連のプロジェクトが始動 5月12日「看護の日」までに抜本的な改善を

## #100日後に一揆する看護師

コロナ禍だからこそ、伝えたいこと、伝わることもある。